

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
名古屋地域	名古屋市、清須市、北名古屋市、あま市（甚目寺地区）、豊山町、北名古屋衛生組合	平成27年4月1日～令和3年3月31日	平成27年4月1日～令和3年3月31日

1 目標の達成状況
（ごみ処理）【4市1町】

指 標	現状（割合※1） （平成25年度）	目標（割合※1） （令和3年度） A	実績（割合※1） （令和3年度） B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	216,917 t	193,698 t (-10.7%)	185,839 t (-14.3%)	133.6 %
	1 事業所当たりの排出量※3	1.63 t	1.45 t (-11.0%)	1.42 t (-12.9%)	117.3 %
	生活系 総排出量	532,394 t	509,759 t (-4.3%)	512,820 t (-3.7%)	86.0 %
	1 人当たりの排出量※4	187 kg/人	174 kg/人 (-7.0%)	178 kg/人 (-4.8%)	68.6 %
合 計 事業系生活系総排出量合計	749,311 t	703,457 t (-6.1%)	698,659 t (-6.8%)	111.5 %	
再生利用量	直接資源化量	4,383 t (0.6%)	3,062 t (0.4%)	3,357 t (0.5%)	50.0 %
	総資源化量	215,744 t (25.3%)	261,355 t (32.1%)	185,200 t (24.5%)	-11.8 %
熱回収量	熱回収量（年間の発電電力量）	251,367 MWh	263,930 MWh	316,392 MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	55,941 t (7.5%)	26,620 t (3.8%)	27,292 t (3.9%)	97.3 %

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

※3 （1事業所当たりの排出量）=（事業系総排出量）/（事業所数）

※4 （1人あたりの排出量）= {（生活系総排出量）-（生活系資源量）} /（人口）

(ごみ処理) 【名古屋市】

指 標	現状 (割合※1) (平成25年度)	目標 (割合※1) (令和3年度) A	実績 (割合※1) (令和3年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	205,755 t	183,413 t (-10.9%)	173,884 t (-15.5%)	142.2 %
	1 事業所当たりの排出量※3	1.58 t	1.41 t (-10.8%)	1.37 t (-13.3%)	123.1 %
	生活系 総排出量	482,313 t	462,195 t (-4.2%)	464,644 t (-3.7%)	88.1 %
	1 人当たりの排出量※4	185 kg/人	172 kg/人 (-7.0%)	176 kg/人 (-4.9%)	70.0 %
合 計 事業系生活系総排出量合計	688,068 t	645,608 t (-6.2%)	638,528 t (-7.2%)	116.1 %	
再生利用量	直接資源化量	453 t (0.07%)	528 t (0.08%)	585 t (0.09%)	200.0 %
	総資源化量	204,874 t (26.0%)	254,114 t (33.6%)	178,202 t (25.6%)	-5.3 %
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	251,367 MWh	263,930 MWh	316,392 MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	51,583 t (7.5%)	22,459 t (3.5%)	23,000 t (3.6%)	97.5 %

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

※3 (1事業所当たりの排出量) = (事業系総排出量) / (事業所数)

※4 (1人あたりの排出量) = {(生活系総排出量) - (生活系資源量)} / (人口)

(ごみ処理) 【清須市】

指 標	現状 (割合※1) (平成25年度)	目標 (割合※1) (令和3年度) A	実績 (割合※1) (令和3年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	2,269 t	2,463 t (8.6%)	2,847 t (25.5%)	296.5%
	1 事業所当たりの排出量※3	0.83 t	0.91 t (9.6%)	0.91 t (9.6%)	100.0%
	生活系 総排出量	15,121 t	14,701 t (-2.8%)	14,783 t (-2.2%)	78.6%
	1 人当たりの排出量※4	195 kg/人	188 kg/人 (-3.6%)	197 kg/人 (1.0%)	-27.8%
合 計 事業系生活系総排出量合計	17,390 t	17,164 t (-1.3%)	17,630 t (1.4%)	-107.7%	
再生利用量	直接資源化量	1,810 t (10.4%)	1,117 t (6.5%)	1,197 t (6.8%)	92.3%
	総資源化量	3,210 t (17.1%)	1,698 t (9.6%)	1,724 t (9.5%)	101.3%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	— MWh	— MWh	—MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	416 t (2.4%)	498 t (2.9%)	561 t (3.2%)	160.0%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

※3 (1事業所当たりの排出量) = (事業系総排出量) / (事業所数)

※4 (1人あたりの排出量) = {(生活系総排出量) - (生活系資源量)} / (人口)

(ごみ処理) 【北名古屋市】

指 標	現状 (割合※1) (平成25年度)	目標 (割合※1) (令和3年度) A	実績 (割合※1) (令和3年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	5,558 t	4,424 t (-20.4%)	5,283 t (-4.9%)	24.0%
	1 事業所当たりの排出量※3	11.39 t	5.90 t (-48.2%)	6.31 t (-44.6%)	92.5%
	生活系 総排出量	20,935 t	18,837 t (-10.0%)	19,665 t (-6.1%)	61.0%
	1 人当たりの排出量※4	206 kg/人	184 kg/人 (-10.7%)	192 kg/人 (-6.8%)	63.6%
合 計 事業系生活系総排出量合計	26,493 t	23,261 t (-12.2%)	24,948 t (-5.8%)	47.5%	
再生利用量	直接資源化量	757 t (2.9%)	620 t (2.7%)	684 t (2.7%)	100.0%
	総資源化量	6,219 t (22.3%)	4,676 t (19.2%)	4,366 t (17.2%)	164.5%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	— MWh	— MWh	— MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	3,057 t (11.5%)	2,765 t (11.9%)	2,794 t (11.2%)	-75.0%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

※3 (1事業所当たりの排出量) = (事業系総排出量) / (事業所数)

※4 (1人あたりの排出量) = {(生活系総排出量) - (生活系資源量)} / (人口)

(ごみ処理) 【あま市 (甚目寺地区)】

指 標	現状 (割合※1) (平成25年度)	目標 (割合※1) (令和3年度) A	実績 (割合※1) (令和3年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	880 t	1,240 t (40.9%)	1,347 t (53.1%)	129.8%
	1 事業所当たりの排出量※3	19.13 t	7.90 t (-58.7%)	8.58 t (-55.1%)	93.9%
	生活系 総排出量	10,159 t	10,161 t (0.02%)	9,932 t (-2.2%)	-11000%
	1 人当たりの排出量※4	216 kg/人	222 kg/人 (2.8%)	213 kg/人 (-1.4%)	-50.0%
合 計 事業系生活系総排出量合計	11,039 t	11,401 t (3.3%)	11,279 t (2.2%)	66.7%	
再生利用量	直接資源化量	902 t (8.2%)	440 t (3.9%)	511 t (4.5%)	86.0%
	総資源化量	902 t (8.2%)	440 t (3.9%)	511 t (4.5%)	86.0%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	— MWh	— MWh	— MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	180 t (1.63%)	177 t (1.55%)	252 t (2.2%)	-712.5%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

※3 (1事業所当たりの排出量) = (事業系総排出量) / (事業所数)

※4 (1人あたりの排出量) = {(生活系総排出量) - (生活系資源量)} / (人口)

(ごみ処理) 【豊山町】

指 標	現状 (割合※1) (平成25年度)	目標 (割合※1) (令和3年度) A	実績 (割合※1) (令和3年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	2,455 t	2,158 t (-12.1%)	2,478 t (0.9%)	-7.4 %
	1 事業所当たりの排出量※3	22.73 t	19.98 t (-12.1%)	15.30 t (-32.7%)	270.2 %
	生活系 総排出量	3,866 t	3,865 t (-0.03%)	3,796 t (-1.8%)	6000 %
	1 人当たりの排出量※4	225 kg/人	220 kg/人 (-2.2%)	216 kg/人 (-4.0%)	181.8 %
合 計 事業系生活系総排出量合計	6,321 t	6,023 t (-4.7%)	6,274 t (-0.7%)	14.9 %	
再生利用量	直接資源化量	461 t (7.3 %)	357 t (5.9%)	380 t (6.1%)	85.7 %
	総資源化量	539 t (8.4 %)	427 t (7.0%)	397 t (6.3%)	150.0 %
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	— MWh	— MWh	— MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	705 t (11.2 %)	721 t (12.0%)	685 t (10.9%)	-37.5 %

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

※3 (1事業所当たりの排出量) = (事業系総排出量) / (事業所数)

※4 (1人あたりの排出量) = { (生活系総排出量) - (生活系資源量) } / (人口)

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	生活系ごみの有料化についての議論と検討を進める。	平成 27 年度～令和 2 年度（継続事業）	<p>【名古屋市】 指定袋制を導入しているが、有料化は実施していない。ただし、粗大ごみについては品目に応じて処理手数料を設定している。有料化については、今後も議論と検討を進めていく</p> <p>【清須市】 指定袋制を導入し、処理手数料の一部を指定袋代に上乗せしている。また、粗大ごみについては有料収集を行った。</p> <p>【北名古屋市】 生活系ごみについて、近隣市町の動向を見ながら、引き続き有料化を検討していく。</p> <p>【あま市】 指定袋制を導入して処理手数料の一部を上乗せしているが、処理手数料の値上げは近隣市の動向を見ながら今後も議論を進めていく。</p> <p>【豊山町】 可燃ごみについては、近隣市町の動向を考慮し、引き続き有料化を検討していく。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	12	環境教育	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	循環型社会の重要性などについて、意識を高めていく。	平成 27 年度～令和 2 年度（継続事業）	<p>【名古屋市】 各種講座・出前授業を実施したほか、小学 4 年生向け補助教材「ごみと資源とわたしたち」を作成し配布するなど、循環型社会の重要性について啓発を実施した。</p> <p>【清須市】 市内小学 4 年生を対象とした出前講座等を実施した（令和 2 年度は中止）。</p> <p>【北名古屋市】 市民向けの出前講座、エコクッキング等を実施した（令和元年度設置、2 年度は中止）。</p> <p>【あま市】 市役所に常設しているリサイクルステーションで分別の指導を行った。また市民向けの出前講座を実施した。</p> <p>【豊山町】 小学生以上の親子を対象とした環境にやさしい料理教室を実施した。</p> <p>その他、地域計画に記載した施策についても実施した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	13	普及啓発	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	協働を促進するため、わかりやすい環境情報の提供に努める。	平成 27 年度～令和 2 年度（継続事業）	<p>【名古屋市】 本市の一般廃棄物処理の現状をまとめた「名古屋ごみレポート」を作成し公表するなど、環境情報の提供を行った。</p> <p>【清須市】 「食育まつり」において「ごみ減量をテーマとした啓発活動」を実施した。（令和 2 年度は中止）ごみの分別の仕方等を掲載したガイドブックを全戸配布し、分別等に関する啓発を行った。</p> <p>【北名古屋市】 ごみの出し方・分け方チラシの全戸配布し、分別等に関する啓発を行った。</p> <p>【あま市】 「ごみの分別と出し方のルール」冊子を毎年見直し、わかりやすい啓発を行った。</p> <p>【豊山町】 ごみの出し方・分け方パンフレットの全戸配布を行い、住民のごみの分別に対する啓発を行った。廃棄物減量等推進活動ボランティアの育成については実施できなかった。</p> <p>その他、地域計画に記載した施策についても実施した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	14	助成	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	市民による資源化の推進やごみ減量の取り組みを支援する。	平成 27 年度～令和 2 年度（継続事業）	<p>【名古屋市】 集団資源回収活動へ事業協力金支給するなど、市民による資源化の取り組みを支援した</p> <p>【清須市】 生ごみ処理機等の購入費への補助を行った。集団資源回収団体への補助を実施した。</p> <p>【北名古屋市】 生ごみ処理容器等（生ごみ処理容器、生ごみ処理機）の購入費への補助を実施した。また、資源回収団体や自治会への補助を実施した。</p> <p>【あま市】 家庭用電動式生ごみ処理機の購入費補助を行った。</p> <p>【豊山町】 子ども会や PTA 等の集団回収の実施に対し、奨励金を交付した。</p> <p>その他、地域計画に記載した施策についても実施した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	15	マイバック運動・レジ袋対策	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	レジ袋削減運動を手始めに、他の容器包装の削減についても協働の輪を広げていく。	平成 27 年度～令和 2 年度（継続事業）	<p>【名古屋市】 消費者団体や事業者団体等で構成する「2R 推進実行委員会」との協働により、レジ袋などの容器包装削減の取り組みを実施した。</p> <p>【清須市】 市内のスーパーでレジ袋の有料化を実施した。</p> <p>【北名古屋市】 市内のスーパーでレジ袋の有料化を実施した。</p> <p>【あま市】 レジ袋有料化を市内のスーパーで実施した。レジ袋の有料化が義務化されたことによりレジ袋削減取組店制度について要綱の見直しを行った。</p> <p>【豊山町】 イベントの啓発品として、エコバッグを配布するなどして、マイバッグ運動を啓発した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	16	再使用の推進	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	市民のリユースの取り組みを支援し、「使い捨て型ライフスタイル」からの転換を図る。	平成 27 年度～令和 2 年度（継続事業）	<p>【名古屋市】 粗大ごみの修理・展示販売や家具の修理を行う市民工房を実施した。</p> <p>【清須市】 循環型社会について記載したガイドブックを全戸配布し、啓発を行った。</p> <p>【北名古屋市】 リサイクルデータバンクの利用啓発、フリーマーケットの支援等を行った。</p> <p>【あま市】 広報・公式ウェブサイト・「ごみの分別と出し方のルール」冊子等で啓発を行った。</p> <p>【豊山町】 環境フェスティバルでフリーマーケットを実施することにより、リユースを推進した。</p> <p>その他、地域計画に記載した施策についても実施した。</p>
処理体制の構築、変更に関するもの	21	破碎不燃物等の溶融処理	PFI 方式	平成 21 年度から鳴海工場がガス化溶融炉として稼働することにより、破碎不燃物等も溶融処理する。	平成 27 年度～令和 2 年度（継続事業）	<p>継続して鳴海工場での破碎不燃物等の溶融処理を行った。令和 2 年度から稼働した北名古屋工場では不燃・粗大ごみを前処理し、溶融処理を行った。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
処理体制の構築、変更に関するもの	22	市民分別の徹底	名古屋市	分別ルールが定着しにくい共同住宅等について、分別徹底の取組を進める。	平成 27 年度～令和 2 年度（継続事業）	資源・ごみ分別アプリの配信や、住宅管理会社と組織する協議会による入居者への啓発・指導などを実施した。
処理体制の構築、変更に関するもの	23	事業系ごみの分別徹底	名古屋市	排出事業者と収集運搬業者の取組みを促進する。	平成 27 年度～令和 2 年度（継続事業）	事業用大規模建築物等への立入調査による指導や、収集運搬業者を通じた排出事業者への働きかけなどを実施した。
処理施設の整備に関するもの	1	北名古屋工場(仮称)建設事業 (高効率ごみ発電施設)	名古屋市	高効率ごみ発電施設の整備	平成 28 年度～令和 2 年度（平成 28 年度～令和 2 年度）	平成 28 年度から令和 2 年度に高効率ごみ発電施設の整備を実施した。
	2	富田工場設備更新事業 (エネルギー回収推進施設)	名古屋市	エネルギー回収推進施設の整備	平成 27 年度～令和 2 年度（平成 27 年度～令和 2 年度）	平成 27 年度から令和 2 年度にエネルギー回収推進施設の整備を実施した。
	3	南陽工場設備更新事業 (エネルギー回収型廃棄物処理施設)	名古屋市	エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備	令和 2 年度 (令和 2 年度～令和 8 年度)	令和 2 年度にエネルギー回収型廃棄物処理施設の整備を実施した。
	4	愛岐処分場浸出水処理施設改築事業 (最終処分場)	名古屋市	最終処分場施設の整備	令和 2 年度 (令和 2 年度～令和 4 年度)	令和 2 年度に最終処分場施設の整備を実施した。
	5	西資源センター移設更新事業 (マテリアルリサイクル推進施設)	名古屋市	マテリアルリサイクル推進施設の整備	令和 2 年度 (令和 2 年度～令和 5 年度)	令和 2 年度にマテリアルリサイクル推進施設の整備を実施した。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	名古屋市		平成27年度(継続～平成27年度)	平成27年度に整備事業者選定支援を実施した。
	32	2の計画支援	名古屋市		平成27年度	平成27年度に環境影響評価書作成、事後調査計画書作成、焼却設備発注設計を実施した。
	33	3の計画支援	名古屋市		平成29年度～令和2年度 (平成29年度～令和3年度)	平成29年度から令和2年度に環境影響評価、基本計画、基本設計、発注仕様書の作成等を実施した。
	34	4の計画支援	名古屋市		平成29年度～令和元年度 (平成29年度～令和元年度)	平成29年度から令和元年度に基本設計、地質調査、実施設計等を実施した。
	35	5の計画支援	名古屋市		令和元年度～令和2年度 (令和元年度～令和3年度)	令和元年度から令和2年度に解体実施設計、基本調査、発注設計を実施した。
その他	41	溶融スラグの有効利用の促進	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	活用先を確保しながら埋立の回避に努める。	平成27年度～令和2年度(継続事業)	【名古屋市・清須市・北名古屋市・あま市・豊山町】 道路資材等として活用することで埋立量を削減した。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
その他	42	ごみ減量に向けた市民によるプロジェクトの実施	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	市民自らが主体的にプロジェクトを実施	平成 27 年度～令和 2 年度（継続事業）	<p>【名古屋市】 市民団体が出展する環境デーなごや等のイベントにおいて、「2R 推進実行委員会」を通じてプラスチック削減等の啓発を共同で行った。</p> <p>【清須市】 清須市ごみ減量サークルの活動を支援し、駅前のごみ回収や啓発活動に協力した。</p> <p>【北名古屋市】 市民団体が自発的なボランティア清掃を実施した（市は共催）。</p> <p>【あま市】 市民団体が自発的なボランティア清掃イベントを開催した（市は協賛）。</p> <p>【豊山町】 町民団体が自発的に清掃活動を実施した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
その他	43	不法投棄防止対策	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	パトロールとカメラによる監視	平成 27 年度～ 令和 2 年度（継続事業）	<p>【名古屋市】 隣接市町村不法投棄連絡会議の開催や、共同パトロールの実施により、不法投棄対策を行った。</p> <p>【清須市】 毎週市内を委託業者がパトロールし、不法投棄の発見・回収を行った。</p> <p>【北名古屋市】 定期的なパトロールを行うとともに、団体による清掃活動の実施、不法投棄多発地点に監視カメラを設置等の対策を行った。</p> <p>【あま市】 隣接市町村不法投棄連絡会議の開催や共同パトロールの実施により不法投棄対策を行った。</p> <p>【豊山町】 不法投棄対策のため、パトロールを実施した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
その他	44	災害時の廃棄物処理に関する事項	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	名古屋市地域防災計画を踏まえた計画（地震災害）の策定	平成 27 年度～ 令和 2 年度 (継続～平成 27 年度)	<p>【名古屋市】 名古屋市災害廃棄物処理計画を平成 28 年 10 月に策定した。</p> <p>【清須市】 清須市災害廃棄物処理計画を令和 2 年度に策定した。</p> <p>【北名古屋市】 北名古屋市災害廃棄物処理計画を令和元年度に策定した。</p> <p>【あま市】 一般社団法人愛知県産業廃棄物協会と「災害時における廃棄物の処理等に関する協定」を締結した。また平成 31 年 3 月にあま市災害廃棄物処理計画を策定した。</p> <p>【豊山町】 令和 2 年 3 月に豊山町災害廃棄物処理計画を策定した。</p>

3 目標の達成状況に関する評価

○排出量

事業系については、総排出量の目標 193,698 t に対し、実績は 185,839 t で、1 事業所あたりの排出量の目標 1.45 t に対し、実績は 1.42 t であり、目標を達成することができた。

これは、オフィスビルを対象に古紙の分別・資源化の徹底を重点的に指導する立ち入り調査を実施したほか、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い事業活動が縮小したことが要因と考えられる。

事業系生活系総排出量合計は、総排出量の目標 703,457 t に対し、実績は 698,659 t であり目標を達成することができた。

これは、事業系排出量を削減できたことが要因と考えられる。

なお、生活系については、総排出量の目標 509,759 t に対し、実績は 512,820 t で、1 人あたりの排出量の目標 174 kg/人に対し、実績は 178 kg/人であり、目標を達成することができなかった。

達成することができなかった要因及び目標の達成に向けた方策等について改善計画書を作成する。

○再生利用量

直接資源化量については、目標 3,062 t (排出量に対する割合 0.4 %) に対し、実績は 3,357 t (排出量に対する割合 0.5 %) であり目標を達成することができた。

これは、平成 29 年 10 月から名古屋市で蛍光管・水銀体温計・水銀温度計の回収を開始し、直接資源化量が増加したことが要因と考えられる。

総資源化量については、目標 261,355 t (排出量+集団回収量に対する割合 32.1 %) に対し、実績は 185,200 t (排出量+集団回収量に対する割合 24.5 %) であり目標を達成することができなかった。

達成することができなかった要因及び目標の達成に向けた方策等について改善計画書を作成する。

○熱回収量

熱回収量は、目標 263,930 MWh に対し、実績は 316,392 MWh であり目標を達成することができた。

これは、計画的な焼却施設や発電設備の整備と、安定した稼働により順調に発電ができたことが要因と考えられる。

○最終処分量

最終処分量は、目標 26,620 t (排出量に対する割合 3.8 %) に対し、実績は 27,292 t (排出量に対する割合 3.9 %) であり目標を達成することができなかった。

達成することができなかった要因及び目標の達成に向けた方策等について改善計画書を作成する。

名古屋地域循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書（様式第9関係）

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

○ 目標の達成状況について

事業系総排出量及び1事業所当たりの排出量は目標を達成している。これは、オフィスビルを対象に古紙の分別・資源化の徹底を重点的に指導する立入調査を実施したことや、新型コロナウイルス感染症により事業活動が縮減されたこと等によるものと考えられる。

事業系生活系総排出量合計は目標を達成している。これは、事業系排出量を削減できたこと等によるものと考えられる。

再生利用量のうち、直接資源化量は目標を達成している。これは、名古屋市で蛍光管、水銀体温計、水銀温度計の回収を開始し、直接資源化量が増加したこと等によるものと考えられる。

熱回収量は目標を達成している。これは、ごみ焼却施設の施設整備が実施されたことやごみ焼却施設の安定した稼働等によるものと考えられる。

目標を達成した指標については、循環型社会が更に進展するよう取り組んでいただきたい。なお、目標未達成の指標（生活系総排出量、生活系1人当たりの排出量、総資源化量、最終処分量）に関する所見は、循環型社会形成推進地域計画改善計画書に記載する。

○ 各施策の実施状況について

発生抑制、再使用の推進に関する施策は、積極的に普及啓発活動が実施される等、概ね計画のとおり実施されたものとする。

処理体制の構築、変更に関する施策は、計画のとおり処理体制の構築等が実施されている。

処理施設の整備に関する施策（各種計画支援に関する施策）は、計画のとおり処理施設の整備等が実施されているものとする。

その他の施策についても、計画どおり施策が実施されているものとする。